

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2007年9月）

【目次】

・中華圏・韓国

- 1 .中国経済の概況・・・輸出と投資の堅調を背景に景気の拡大が続く ... p.1
- 2 .中国の主要指標解説：消費は実質ベースでは鈍化傾向 ... p.3
- 3 .台湾経済の概況・・・輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復続く ... p.4
- 4 .韓国経済の概況・・・堅調な輸出と内需持ち直しで景気拡大続く ... p.5

・ASEAN・インド

- 1 .タイ経済の概況・・・輸出主導で4～6月期は4.4%成長 ... p.6
- 2 .インドネシア経済の概況・・・内需持ち直しから緩やかに景気回復 ... p.7
- 3 .マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4 .ベトナム経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気拡大が続く ... p.9
- 5 .インド経済の概況・・・製造業好調で4～6月期は9.3%成長 ... p.10

・アジア通貨・株価動向

... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

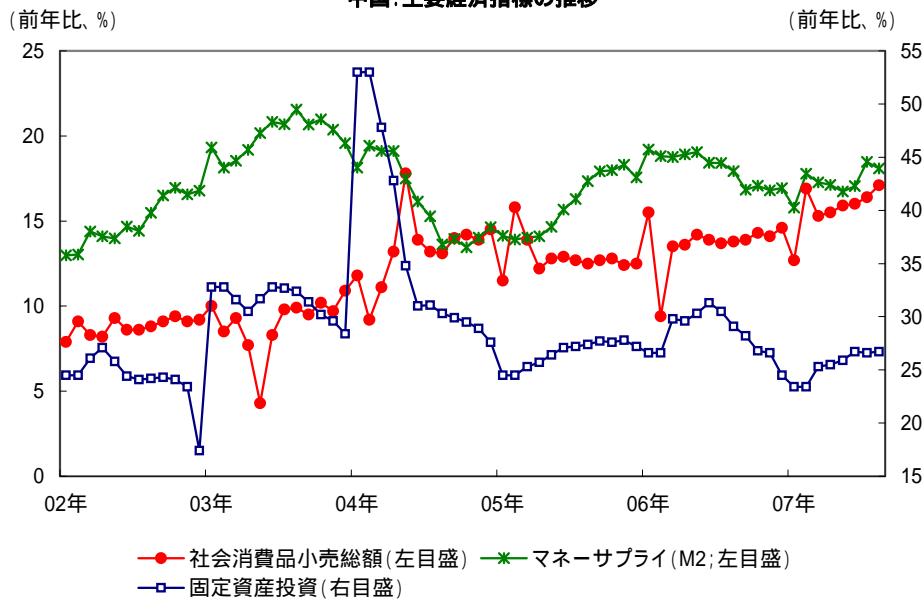
野田 (mariko.noda@murc.jp)

・ 中華圏・韓国

1 . 中国経済の概況

- ・ 輸出と投資の堅調を背景に景気の拡大が続いている。8月の輸出は前年同月比22.7%増と前月(同34.1%増)からは鈍化したものの依然として堅調な拡大が続いている。地域別にはEU向け(前年同月比35.0%増)、米国向け(同9.4%増)並びにASEAN向け(同22.4%増)が好調であった。一方、輸入も機械類あるいは一次産品輸入の拡大を背景に同20.0%増と前月(同26.9%増)に引続き前年比2割増の拡大となったものの、8月の貿易黒字は250億ドルと6月(269億ドル)に次ぐ大幅な黒字となった。
- ・ 輸出の堅調を反映し、8月の鉱工業生産も同17.5%増と前月に比べてやや鈍化したものの堅調な拡大が続いている。また1~8月期の固定資産投資は前年同期比26.7%増と依然として高い水準が続いている。
- ・ 他方、8月の社会消費品小売総額は外食などを中心に前年同月比17.1%増と年初来、伸び率の加速傾向が続いている。しかし、インフレ高騰でかさ上げされている面もあり、実質ベースでの伸びは依然として、低迷していると見られる(3頁ご参照)。
- ・ 8月の消費者物価上昇率は食品価格の高騰から一段と加速し、前年同月比6.5%と1996年12月(同7%)以来約11年ぶりの高水準となった。マネーサプライも8月同18.1%増と政府目標(同16%増)を上回る増勢が続いている。中国人民銀行(中銀)は9月6日に今年7回目となる預金準備率の引き上げ(12%→12.5%;実施は9月25日)を決めたが、今後も追加の引締め政策が実施されると見られている。

中国:主要経済指標の推移



(注) 固定資産投資は年初からの累計の前年比、各年1月と2月は1~2月の前年同期比(同値)をプロット、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。(出所)CEIC

【中国・香港の主要経済指標】

			2004年	2005年	2006年	06/3Q	06/4Q	07/1Q	07/2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%				10.6	10.4	11.1	11.9				
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.1	10.4	11.1	10.7	11.1	11.1	11.5				
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	13.3	12.9	13.7	13.8	14.3	15.0	15.8	15.9	16.0	16.4	17.1
		うち市	前年比%	20.6	20.6	14.3	14.3	14.8	15.5	16.3	16.3	16.4	16.7	17.5
		うち県	前年比%	18.6	15.2	13.3	13.6	14.1	14.8	16.4	16.4	16.8	17.5	
		うち県以下	前年比%	12.8	16.3	12.3	12.4	13.2	13.1	14.1	14.2	14.2	15.0	
		自動車販売台数	前年比%	16.9	13.8	24.8	20.9	24.7	22.3	25.1	25.8	30.4	37.2	27.2
		うち乗用車	前年比%	19.3	21.5	36.7	28.6	28.9	31.1	22.7	23.9	27.9	34.5	25.2
		消費者自信指数	期中平均	92.9	94.2	94.7	94.7	96.2	95.8	96.8	96.7	97.5	96.7	
	消費者期待指数	期中平均	91.7	95.1	97.2	97.4	98.9	98.4	99.3	99.1	100.0	99.2		
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	27.6	27.2	24.5	28.2	24.5	25.3	26.7	25.9	26.7	26.6	26.7
		うち不動産・居住用建物	前年比%	25.3	19.6	26.8	32.7	26.8	29.7	29.8	28.6	29.8	29.6	
うち国内企業		前年比%	26.1	28.5	25.0	29.1	25.0	25.3	27.1	25.9	27.1	26.7	27.0	
うち製造業		前年比%	36.3	38.6	29.4	33.8	29.4	31.7	34.7	35.5	34.7	35.1		
うち鉄鋼		前年比%	26.9	27.5	2.5	0.9	2.5	13.5	9.6	4.9	9.6	9.2		
うち輸送機械		前年比%	43.2	51.1	25.2	37.8	25.2	31.4	30.6	30.6	30.6	33.4		
うち電気機械		前年比%	64.2	44.9	45.6	57.0	45.6	38.9	44.2	49.8	44.2	44.8		
うち情報通信機器		前年比%	32.7	18.2	38.7	40.7	38.7	30.4	32.3	34.0	32.3	30.6		
直接投資契約件数 (累計ベース)		前年比%	6.3	0.8	5.8	6.8	5.8	4.4	5.4	3.7	5.4	4.8	5.3	
直接投資実行額 (累計ベース)		前年比%	13.3	19.4	4.1	1.5	4.1	11.6	12.2	9.9	12.2	12.9	12.7	
不動産景気指数	期中平均	105.8	101.9	102.5	103.3	103.4	101.8	103.2	103.3	103.6	104.0			
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	32.8	102.1	177.5	48.7	67.8	46.5	66.2	22.5	26.9	24.4	25.0	
	輸出 (ドルベース)	前年比%	35.4	28.4	27.2	28.7	28.9	27.9	27.4	28.7	27.0	34.1	22.7	
	輸入 (ドルベース)	前年比%	35.8	17.7	19.9	22.0	15.5	18.2	18.2	19.1	14.3	26.9	20.0	
	対米貿易収支	10億ドル	80.3	114.2	144.3	39.9	42.1	34.7	39.2	12.6	14.1	14.4	15.0	
	対日貿易収支	10億ドル	20.7	16.4	24.0	7.8	6.4	6.4	7.7	1.8	3.2	2.9	3.3	
	外貨準備	期末10億ドル	609.9	818.9	1066.3	987.9	1066.3	1202.0	1332.6	1292.7	1332.6			
生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.3	15.9	16.2	16.2	14.8	15.1	18.3	18.1	19.4	18.0	17.5	
	うち国有企業	前年比%	13.7	10.7	12.1	12.4	14.0	11.9	13.2	13.0	13.3	12.5		
	うち株式会社	前年比%	16.6	17.3	17.4	17.5	16.3	16.4	20.1	19.7	21.3	19.7		
	うち外商・港台企業	前年比%	18.5	15.8	16.7	15.6	14.2	14.3	16.9	17.1	18.3	17.4		
	在庫額	前年比%	20.2	21.0	18.5	18.1	18.8	n.a.	n.a.	20.9				
	うち鉱物	前年比%	20.8	42.4	37.6	36.7	29.2	n.a.	n.a.	22.2				
	うち素材	前年比%	25.4	27.1	19.6	19.9	19.3	n.a.	n.a.	22.3				
うち機械	前年比%	19.5	16.7	15.6	14.8	17.5	n.a.	n.a.	21.8					
発電量	前年比%	15.0	13.4	14.7	16.5	15.3	12.4	17.7	18.1	18.0	15.8	16.3		
所得 雇用	都市一人当たり所得 (累計ベース)	前年比%	11.8	11.8	12.4	11.7	12.4	22.8	20.4					
	鉱工業雇用者数	前年比%	7.2	8.8	8.3	7.9	6.9	n.a.	n.a.	6.0				
	労働力市場求人倍率	期末	0.94	0.96	0.96	0.96	0.96	0.98	0.98					
物価	第二次産業/全産業求人比率	期末%	31.9	30.8	33.0	32.6	31.3	34.7	37.3					
	消費者物価指数	前年比%	3.9	1.8	1.5	1.3	2.0	2.7	3.6	3.4	4.4	5.6	6.5	
	うち食品	前年比%	10.0	2.9	2.3	1.5	4.1	6.2	8.9	8.3	11.3	15.4	18.2	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	1.4	0.1	1.2	1.5	1.8	2.1	2.1	2.2	1.8	1.7	1.7	
生産者物価指数	前年比%	6.1	4.9	3.0	3.5	2.9	2.8	2.7	2.8	2.5	2.4	2.6		
金融	マネーサプライ (M2)	前年比%	14.6	17.6	16.9	16.8	16.9	17.3	17.1	16.7	17.1	18.5	18.1	
	インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%	2.10	1.43	1.86	2.14	2.25	1.88	2.10	1.82	2.06	2.12	1.91	
	株価指数 (上海総合)	期末	1,267	1,161	2,675	1,752	2,675	3,184	3,821	4,110	3,821	4,471	5,219	
	為替レート (元/ドル)	期中平均	8.28	8.19	7.97	7.97	7.86	7.76	7.68	7.68	7.63	7.58	7.57	
	為替レート (円/元)	期中平均	13.1	13.4	14.6	14.6	15.0	15.4	15.7	15.7	16.1	16.0	15.4	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	8.6	7.5	6.9	6.8	7.3	5.7	6.9				
		うち民間消費	前年比%	7.2	3.3	5.2	4.6	5.4	5.3	6.6				
		うち固定資本形成	前年比%	3.1	4.6	7.9	10.3	9.4	4.7	11.1				
	名目GDP成長率	前年比%	4.7	7.1	6.6	6.3	6.9	6.7	7.7					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	8.1	6.1	5.6	6.0	6.3	7.4	8.0	9.7	13.1	12.0	
		不動産価格指数	前年比%	26.7	18.0	0.7	0.9	3.5	5.5	7.3	6.7	9.5	10.6	
		うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%	44.9	21.5	5.4	15.4	1.3	0.0	19.1	16.8	11.8	9.0	
	不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%	40.6	2.7	20.2	1.6	7.3	31.6	38.9	42.2	35.0	70.2		
	貿易	貿易収支	10億HKドル	93.7	81.4	138.8	26.3	32.8	40.3	54.3	14.3	19.4	8.2	
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%	15.8	11.4	9.3	8.4	11.8	9.0	11.9	12.1	11.1	8.6	
輸入 (香港ドルベース)		前年比%	16.8	10.3	11.5	10.6	14.0	9.0	12.9	11.1	13.0	9.8		
物価	消費者物価指数	前年比%	0.4	0.9	2.0	2.3	2.1	1.7	1.3	1.3	1.4	1.6		
	マネーサプライ (M3)	期末%	8.6	5.2	15.7	14.4	15.7	16.5	20.7	9.5	20.7	17.4		
金融	ハンセン指数	期末%	14,230	14,876	19,965	17,543	19,965	19,801	21,773	20,634	21,773	23,185	23,984	

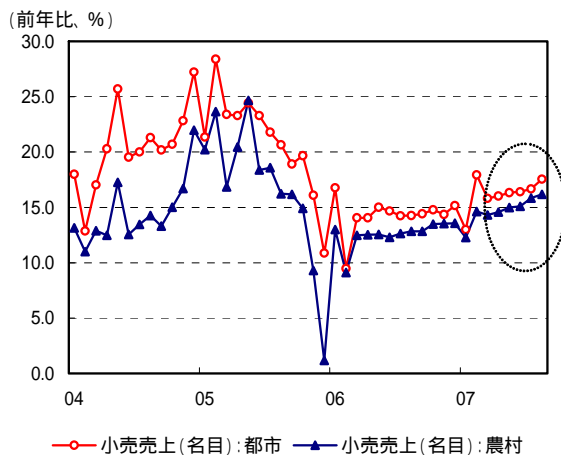
(出所) CEIC 他 (注) 直投実行額は05年から金融分野への投資も含むベース。不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

2. 中国の主要指標解説：消費は実質ベースでは鈍化傾向

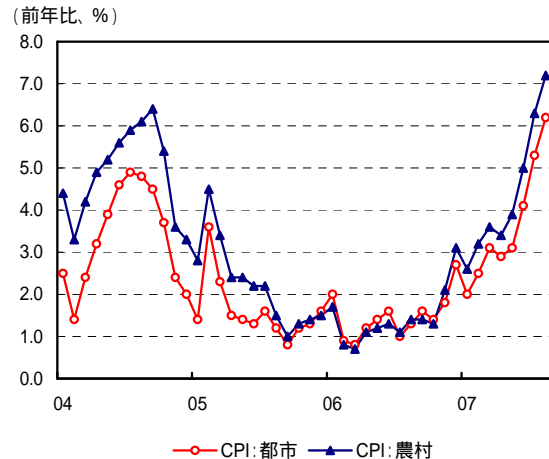
8月の消費品小売総額(名目ベース)は前年同月比17.1%増と堅調な拡大となった。地域別にみても都市部で同17.5%増、農村部で16.2%増といずれも高い伸びとなっている(図表1)。しかし同時に食品価格の高騰を背景に年初来、消費者物価上昇率は大幅に加速している(図表2)。

このため名目の小売売上伸び率から消費者物価上昇率を差し引き実質ベースの小売売上の伸び率を試算すると、足元は前年比10%増近辺に鈍化していることがわかる(図表3)。さらにこれを地域別にみると、農村部の実質小売売上伸び率が都市部に比べて大きく鈍化していることがわかる(図表4)。これは農村部の名目ベースの売上伸び率が都市部に比べて遅れている一方で、インフレ率が都市部を上回っているためである。インフレ高騰を背景に実質購買水準という面でも都市と農村の格差が一段と拡大していることを示唆している。

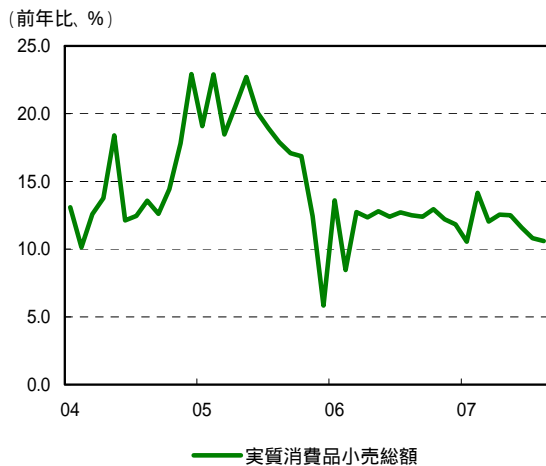
図表1. 名目消費品小売総額伸び率の推移



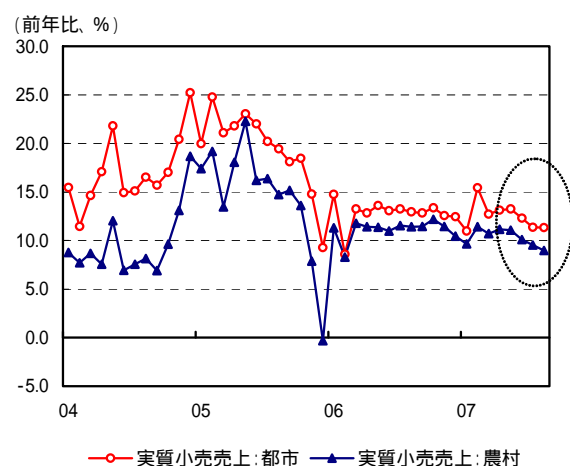
図表2. 消費者物価(CPI)上昇率の推移



図表3. 実質消費品小売総額伸び率の推移



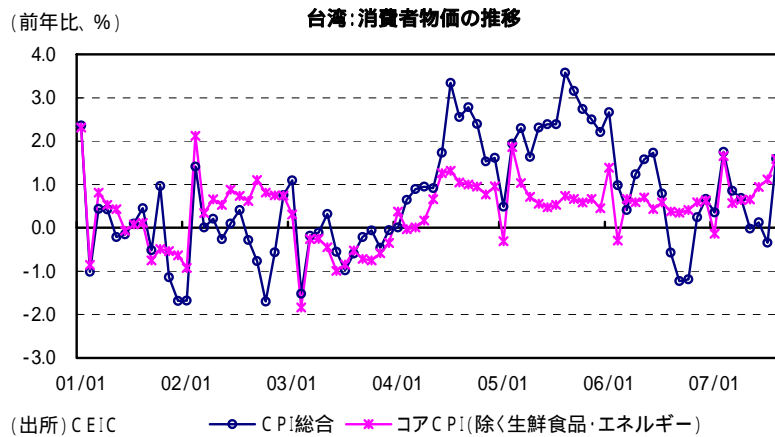
図表4. 地域別実質小売売上の推移



(注)消費品小売総額の農村部は県並びに県以下のレベルの合計。
 (実質伸び率) = (名目伸び率) - (消費者物価上昇率)で推計。
 (出所)CEIC

3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出の堅調を受けた投資・生産の持ち直しから緩やかな景気回復が続いている。8月の輸出は前年同月比10.5%増と堅調に拡大した。中国など近隣アジア諸国向けが好調な一方、米国、日本向けは前年同月比マイナスと低迷した。他方8月の新車販売はメーカーの販促が奏効し、前年同月比38%増と大幅に拡大した。9月以降新モデルの投入が相次ぐことから今後も堅調な増加が見込まれている。
- ・ 8月の消費者物価は台風の影響で野菜等の価格が高騰したことを主因に前年同月比1.6%と2月の同1.8%以来の高い上昇率となった。ただし、底堅い需要を背景にインフレ圧力は根強く、食品やエネルギーを除いたコアベースで見ても物価は足元、加速傾向にある。こうした中で台湾中銀は9月20日に再度利上げを行うとの見方が強まっている。ただし、これは足元のインフレ抑制のためというよりも米国との金利差を狭め中期的に資本流出を抑制するためと見られている。



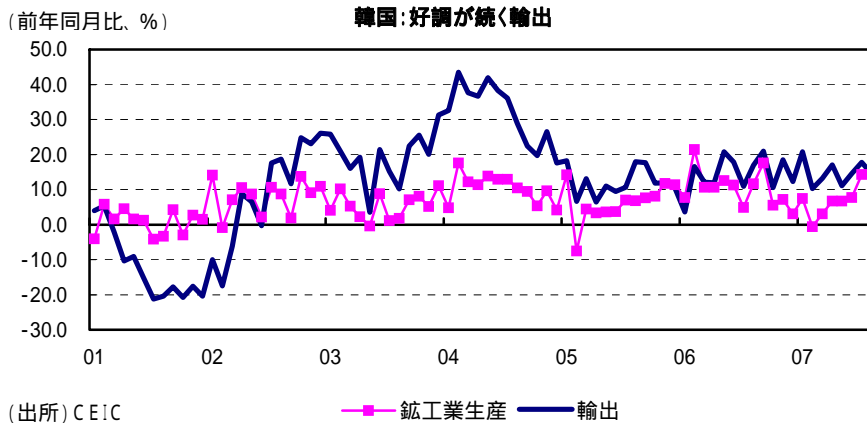
台湾の主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質GDP	6.2	4.1	4.7	5.1	4.0	4.2	5.1				
	うち民間消費	4.5	2.8	1.4	0.4	2.3	2.1	2.6				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	19.5	0.2	1.0	4.0	6.2	2.4	9.2				
生産	鉱工業生産(yoy)	9.8	4.6	5.0	5.2	0.7	1.0	5.7	6.6	7.2	13.0	
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	13.6	15.8	21.3	5.9	7.7	6.3	4.3	1.4	1.4	0.5	3.3
	輸出(yoy)	21.1	8.8	12.9	18.6	7.6	8.5	6.6	3.5	11.0	8.2	10.5
	輸出受注(yoy)	26.5	19.2	16.7	16.4	9.6	12.7	12.8	11.9	15.2	23.5	
	輸入(yoy)	31.8	8.2	11.0	15.1	9.9	3.1	7.2	0.1	10.7	16.7	0.3
	経常収支(10億ドル)	18.5	16.0	24.7	6.2	8.4	8.7	5.0				
	外貨準備高(10億ドル)	242	253	266	262	266	267	266	266	266	266	261
雇用	失業率(季調値)	4.4	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	
物価	消費者物価(yoy)	1.6	2.3	0.6	0.3	0.1	1.0	0.3	0.0	0.1	0.3	1.6
金融	M2(yoy)	7.4	6.6	5.3	5.9	5.3	5.8	4.6	4.6	4.6	4.6	
	株価指数(加権指数)	6,140	6,548	7,824	6,883	7,824	7,884	8,883	8,145	8,883	9,287	8,982
	短期金利(オーバーナイト)	1.04	1.30	1.56	1.59	1.66	1.69	2.12	2.13	2.50	2.01	2.01
	為替レート(NTドル/ドル)	33.4	32.2	32.5	32.8	32.9	32.9	33.1	33.3	32.9	32.8	33.0
	為替レート(円/NTドル)	3.24	3.42	3.58	3.55	3.58	3.63	3.65	3.63	3.73	3.70	3.54

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 堅調な輸出と底堅く推移する内需を背景に緩やかな景気拡大が続いている。8月の輸出は自動車、一般機械、鉄鋼などを中心に前年同月比14.4%増となった。06年2月以来19カ月連続で前年比二桁台の伸びが続く好調ぶりである。地域別には中東、EU向けが好調だったが、米国、日本向けは石油精製設備の定期補修による生産休止の影響で不振であった。
- ・ 8月の消費者物価上昇率は原油価格の低下と前年に悪天候の影響で食品価格が高騰した反動から前年同月比2.0%と中銀のインフレ目標(2007年~2009年:2.5%~3.5%)を下回る水準にまで低下した。
- ・ こうした中で韓国中銀は9月7日の金融政策委員会で政策金利(無担保翌日物コール金利)の5.0%据え置きを決めた。中銀は7月、8月と2カ月連続で利上げを行ったが国際金融市場の不安定化もあり、様子見を決めた。



韓国の主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質GDP	4.7	4.2	5.0	4.8	4.0	4.0	5.0				
	うち民間消費支出	0.3	3.6	4.2	4.0	3.7	4.1	4.2				
	うち固定資本形成	2.1	2.4	3.2	4.6	4.5	7.0	6.7				
	うち設備	3.8	5.7	7.6	11.1	5.3	10.8	11.9				
生産	鉱工業生産(yoy)	10.2	6.2	10.1	11.4	5.2	3.4	7.1	6.7	7.7	14.3	
消費	小売売上高(数量,yoy)	0.2	4.3	4.9	4.5	4.2	4.4	3.0	3.5	3.5	4.2	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	29.4	23.2	16.1	2.5	7.5	2.5	5.3	1.3	3.6	1.1	1.5
	輸出(yoy)	31.0	12.0	14.4	16.3	13.8	14.6	14.2	11.1	14.6	17.8	14.4
	輸入(yoy)	25.5	16.4	18.4	21.1	13.0	13.3	14.3	13.5	9.3	14.5	9.8
	経常収支(10億ドル)	28.2	15.0	6.1	0.4	6.1	1.7	0.0	0.8	1.3	1.6	
	外貨準備高(10億ドル)	199	210	239	228	239	244	251	251	251	255	255
雇用	失業率(季調値)	3.5	3.5	3.3	3.2	3.1	3.4	3.0	3.0	2.9	3.0	2.9
物価	消費者物価(yoy)	3.6	2.8	2.2	2.5	2.1	2.0	2.4	2.3	2.5	2.5	2.0
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	5.9	7.0	11.4	8.9	11.4	11.5	10.9	10.9	10.9	10.9	
	株価指数(総合)	896	1,379	1,434	1,371	1,434	1,453	1,744	1,701	1,744	1,933	1,873
	為替レート(ウォン/ドル)	1,140	1,023	953	953	935	940	929	930	927	923	940
	為替レート(円/100ウォン)	9.5	10.8	12.2	12.2	12.6	12.7	13.1	13.1	13.3	12.9	12.4
	C/Dレート(3カ月物)	3.79	3.65	4.48	4.65	4.64	4.94	5.01	5.04	5.03	5.05	5.21

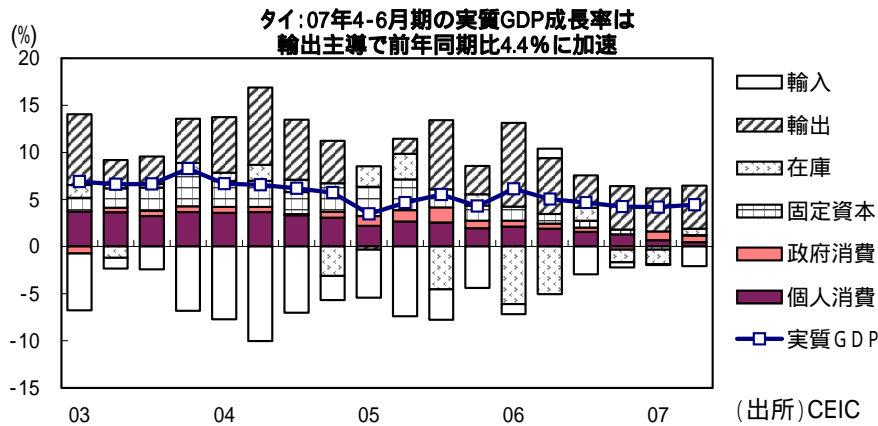
(出所) CEIC

(注) yoy = 前年比(%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 内需に持ち直しの兆しが見えるものの景気は依然として弱含みで推移している。4～6月期の実質GDP成長率は個人消費の低迷持続にもかかわらず、輸出の堅調とこれを背景とした在庫調整の進展、公務員給与支給額や政府調達が増加を反映した政府消費の拡大から前年同期比4.4%と前期（同4.2%）から加速した。
- ・ 8月の消費者物価上昇率は食品価格や燃料価格の低下を背景に前年同月比1.1%に低下した。タイ中銀は景気テコ入れのため年初来5回連続利下げを実施してきたが8月29日には様子見として据え置き（3.25%）を決めた。しかし足元物価が安定しており10月10日に再利下げ実施の可能性が高まったと見られている。



タイの主要経済指標

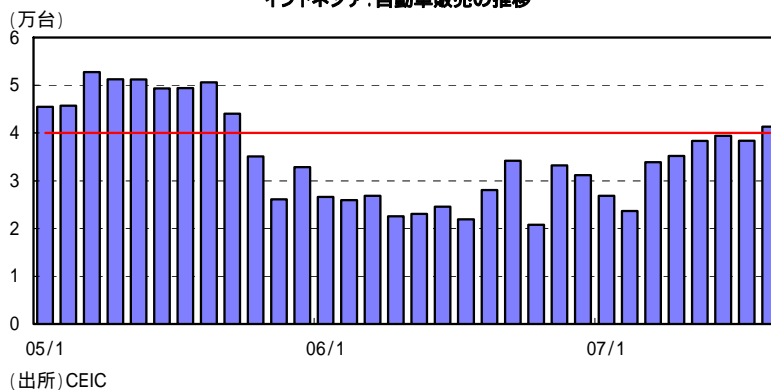
		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質GDP	6.3	4.5	5.0	4.7	4.3	4.2	4.4				
	民間消費	6.2	4.3	3.1	2.8	2.5	1.3	0.9				
	総固定資本形成	13.2	11.1	4.0	3.2	2.4	1.5	0.2				
生産	製造業生産指数(yoy)	11.7	9.1	7.4	6.4	6.8	6.1	5.7	6.3	4.2	7.3	
消費	総合消費指数(yoy)	3.9	0.9	1.7	2.6	1.3	0.5	0.0	0.5	0.8	0.1	
	民間企業投資指数(yoy)	16.4	10.1	2.2	3.1	0.6	2.1	3.0	4.0	2.7	3.0	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	2.5	7.2	3.1	1.7	3.5	3.7	1.8	0.8	0.9	0.2	
	輸出(yoy)	20.6	14.9	17.1	16.1	19.1	17.8	18.6	20.4	17.3	5.9	
	輸入(yoy)	25.3	25.7	7.3	13.4	6.1	3.8	7.3	6.7	5.1	2.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	2.8	7.9	3.2	1.2	3.6	4.9	1.3	0.2	1.2	0.4	
	外貨準備高(10億ドル)	49.8	52.1	67.0	61.6	67.0	70.9	73.0	71.1	73.0	74.0	74.4
雇用	失業率(季調前)	2.1	1.9	1.5	1.2	1.3	1.6	1.6	1.6	1.4		
物価	消費者物価(総合,yoy)	2.8	4.5	4.6	3.6	3.3	2.5	1.9	1.9	1.9	1.7	1.1
	消費者物価(コア,yoy)	0.4	1.6	2.3	2.0	1.7	1.4	0.9	0.7	0.7	0.8	0.7
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	5.7	6.3	6.2	7.9	6.2	4.9	3.5	4.7	3.5	4.0	
	商銀貸出残高(yoy)	12.6	8.4	5.6	8.1	5.6	2.9	3.1	2.7	3.1	3.7	
	不良債権比率(3M基準,%)	10.7	8.2	7.5	8.2	7.5	7.5	7.8				
	株価指数(SET)	668	714	680	686	680	674	777	737	777	860	813
	為替レート(円/バーツ)	40.2	40.2	37.9	37.6	36.5	35.5	34.6	34.6	34.5	33.7	34.1
	為替レート(円/バーツ)	2.7	2.7	3.1	3.1	3.2	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6	3.4
	インターバンク金利(3M)	1.62	3.28	5.20	5.40	5.25	4.74	3.88	3.75	3.75	3.55	3.55

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 内需の持ち直しに加えて輸出の好調を背景に緩やかな景気回復が続いている。7月の輸出は機械類、電子機器、化学品などを中心とした非石油・ガス部門の好調を背景に前年同月比 10.5% 増となった。また 8 月の自動車販売台数は約 4 万 1 千台と 2005 年の燃料価格引き上げ以来 23 カ月ぶりに単月で 4 万台を上回った。
- ・ 8 月の消費者物価上昇率は灯油・食用油の高騰と学費の上昇を背景に前年同月比 6.5% と前月(同 6.1%) からさらに加速した。なお灯油価格の上昇は家庭燃料を液化天然ガス(LPG)に切り替える政府の政策の下、灯油の供給量が減少していることが主因となっている。インドネシア中銀はインフレの高進と国際金融市場の不安定化を受け、9月6日、政策金利(中銀証券1カ月物)の据え置き(8.25%)を決めた。インドネシア中銀は物価の安定化を背景に 2006 年 5 月以来利下げを続けてきたがここに来て 2 カ月連続で利下げを見送った。

インドネシア:自動車販売の推移



インドネシアの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.0	5.7	5.5	5.9	6.1	6.0	6.3				
	民間消費支出	5.0	4.0	3.2	3.0	3.8	4.7	4.7				
	総固定資本形成	14.7	10.8	2.9	1.3	8.2	7.7	6.9				
生産	製造業生産 (yoy)	3.3	1.3	1.6	0.4	4.6	7.6	7.0				
消費	小売売上 (yoy)	7.3	15.9	4.0	5.8	16.2	11.8	9.7	9.2	10.8	9.1	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	25.1	28.0	39.7	9.9	11.9	10.0	10.1	3.4	3.5	3.6	
	輸出 (yoy)	17.2	19.7	17.7	21.3	18.7	13.9	15.0	17.2	11.4	10.5	
	(除く石油ガス, yoy)	18.0	18.8	19.8	25.4	24.3	21.5	19.8	21.8	14.1	18.2	
	輸入 (yoy)	42.9	24.0	5.8	9.0	11.0	17.0	15.6	26.6	3.6	15.4	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	1.6	0.3	10.0	3.5	1.9	3.1					
	外貨準備高 (10億ドル)	36.3	34.7	42.6	42.4	42.6	47.2	50.9	50.1	50.9	51.9	51.4
物価	消費者物価 (yoy)	6.1	10.5	13.1	14.9	6.1	6.4	6.0	6.0	5.8	6.1	6.5
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	8.1	16.4	14.9	12.3	14.9	15.1	15.8	12.6	15.8		
	株価指数 (総合)	1,000	1,163	1,806	1,535	1,806	1,831	2,139	2,084	2,139	2,349	2,194
	為替レート (北アドル)	8,985	9,751	9,141	9,135	9,098	9,123	8,988	8,828	9,054	9,186	9,410
	為替レート (円/100北ア)	1.20	1.13	1.27	1.27	1.29	1.31	1.34	1.37	1.36	1.32	1.24
	中銀債金利 (3カ月)	7.39	9.16	11.74	11.63	10.12	8.57	7.92	7.83	7.83	7.83	7.83

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、04年5月以降、国際収支の集計方法が一部変更され、それ以前とは不連続。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質GDP	6.8	5.0	5.9	6.0	5.7	5.5	5.7				
	民間消費	9.8	8.7	7.1	7.0	7.0	8.6	13.1				
	総固定資本形成	3.6	5.0	7.9	3.5	9.8	9.9	6.6				
生産	鉱工業生産(yoy)	11.3	4.0	5.0	4.6	4.4	0.2	2.0	3.8	1.6	2.1	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.5	26.4	29.5	8.0	8.3	6.0	6.6	2.3	2.5	2.3	
	輸出(yoy)	21.0	11.3	14.0	17.0	11.1	7.6	7.8	9.5	6.3	6.6	
	輸入(yoy)	26.3	9.0	14.4	14.5	11.3	12.4	8.2	10.1	4.8	9.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	15.1	20.0	25.5	27.1	27.9	20.1					
	外貨準備高(10億ドル)	67	70	83	80	83	99	119	119	119	119	
雇用	失業率(%)	3.6	3.6	3.3	3.1	3.0	3.4					
物価	消費者物価(yoy)	1.4	3.0	3.6	3.6	3.0	2.6	1.5	1.4	1.4	1.6	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	25.2	15.6	17.1	12.6	17.1	17.3	13.0	17.4	13.0	13.3	
	貸出残高(yoy)	26.0	17.5	11.1	12.6	11.1	6.5	6.1	6.2	6.1	8.3	
	不良債権比率(3M基準,%)	7.5	5.8	4.8	5.1	4.8	4.4	4.1	4.3	4.1	3.8	
	株価指数(総合)	907	900	1,096	968	1,096	1,247	1,354	1,347	1,354	1,374	1,274
	為替レート(リキ/ドル)	3.80	3.79	3.67	3.67	3.63	3.50	3.43	3.40	3.45	3.44	3.48
	為替レート(円/リキ)	28.5	29.1	31.7	31.7	32.5	34.1	35.2	35.5	35.6	35.3	33.5
	インターバンク金利(3M,%)	2.93	2.90	3.70	3.83	3.73	3.67	3.60	3.60	3.60	3.60	3.61

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質GDP	6.4	4.9	5.4	5.1	5.5	7.1	7.5				
	民間消費支出	5.9	4.8	5.5	5.2	5.8	5.9	6.0				
	固定資本形成	1.3	6.6	1.4	2.1	2.2	8.5	10.0				
生産	鉱工業生産(yoy)	1.0	2.2	9.9	8.6	14.2	7.2	5.1	7.5	4.7		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.4	6.2	4.4	1.2	1.4	0.2	1.0	0.2	0.6		
	輸出(yoy)	9.5	4.0	14.9	16.6	7.5	9.2	4.2	6.1	1.5	4.5	
	輸入(yoy)	8.8	7.7	9.2	10.0	8.3	5.5	0.4	3.4	3.8		
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.6	2.0	5.0	1.0	1.7	1.8					
	外貨準備高(10億ドル)	14.6	17.7	23.0	21.3	23.0	24.7	26.4	25.6	26.4	28.0	30.5
物価	消費者物価(yoy)	6.0	7.7	6.3	6.1	4.8	2.9	2.4	2.4	2.3	2.6	2.4
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.4	9.0	21.9	14.1	21.9						
	株価指数(総合)	1,823	2,096	2,983	2,557	2,983	3,204	3,661	3,475	3,661	3,501	3,365
	為替レート(ペソ/ドル)	56.2	55.0	51.3	51.0	49.6	48.5	46.7	46.3	46.3	45.6	46.7
	為替レート(円/ペソ)	1.93	2.00	2.27	2.28	2.38	2.46	2.59	2.61	2.65	2.66	2.50
	TB(3ヵ月,%)	7.32	6.10	5.29	5.64	5.15	3.13	2.98	3.03	n.a.	3.55	3.72

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

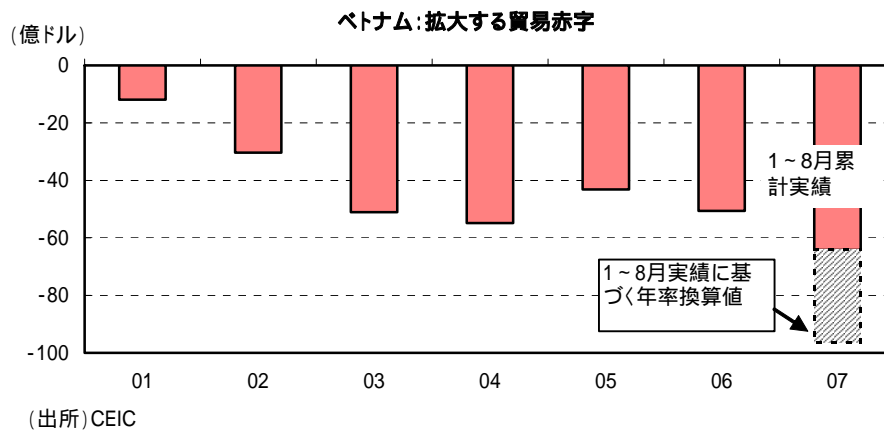
【シンガポールの主要経済指標】

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質GDP	8.8	6.6	7.9	7.0	6.6	6.4	8.6				
	民間消費	5.6	3.1	2.5	2.4	2.7	2.5	5.8				
	総固定資本形成	10.2	0.1	11.5	10.3	17.1	17.5	26.0				
生産	鉱工業生産(yoy)	13.9	9.5	11.9	10.2	8.4	4.6	8.6	18.2	7.3	21.6	
消費	小売売上指数(yoy)	14.0	8.6	7.0	5.4	8.1	7.6	7.3	3.1	14.8		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	25.0	29.6	33.1	8.0	8.9	10.4	8.2	2.6	2.6	3.4	
	輸出(yoy)	24.2	15.6	18.4	19.1	10.5	9.9	7.2	0.5	0.5	9.1	
	輸入(yoy)	27.4	15.2	19.3	21.8	12.9	8.7	6.7	1.2	0.8	3.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	21.5	28.6	36.3	14.3	15.3	16.6	18.2				
	外貨準備高(10億ドル)	113	116	136	129	136	138	144	141	144	147	148
雇用	失業率(季調値,%)	3.4	3.1	2.7	2.7	2.6	2.9	2.3				
物価	消費者物価(yoy)	1.7	0.5	1.0	0.7	0.6	0.5	1.0	1.0	1.3	2.6	
金融	マネーサプライ(M2,%)	6.2	6.2	19.4	12.8	19.4	23.0	23.6	22.4	23.6	22.7	
	株価指数(ストリート)	2,066	2,347	2,986	2,569	2,986	3,231	3,548	3,511	3,548	3,548	3,393
	為替レート(S\$/S\$)	1.690	1.665	1.589	1.579	1.559	1.532	1.525	1.522	1.537	1.516	1.524
	為替レート(円/S\$)	64.0	66.2	73.2	73.6	75.5	77.9	79.2	79.3	79.9	80.1	76.6
	インターバンク金利(3M,%)	1.05	2.29	3.46	3.50	3.46	3.25	2.50	2.38	2.50	2.56	2.75

(出所) CEIC 他 (注) yoy = 前年比(%)

4. ベトナム経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。1～8月期の輸出は衣料品、コーヒー、水産品、履物などを中心に前年同期比 19.6% 増と堅調だったが、輸入も機械設備、鉄鋼、縫製品等を中心に同 30.4% 増と大幅な拡大となったことから、1～8月期の貿易赤字は 64.1 億ドルと昨年同期の 2.3 倍に達している。
- ・ また 1～8月の小売売上も前年同期比 26.0% 増と大幅増加が続いている。こうした内外需の好調から生産も堅調に拡大している。1～8月期の鉱工業生産は前年同期比 18.3% 増となった。
- ・ 一方、景気の拡大持続を背景にインフレ圧力が強まっている。8月の消費者物価上昇率は家畜の伝染病の影響で食品価格が前年同月比 15.7% と高騰したことから同 8.6% と前月（同 8.4%）から若干加速した。輸入関税の引下げなどの政府のインフレ抑制策の効果もあり、物価の上昇テンポは足元、やや抑制されているが、台風や洪水の影響から 9月も 8月比 0.2～0.3% ポイントの上昇が見込まれている。



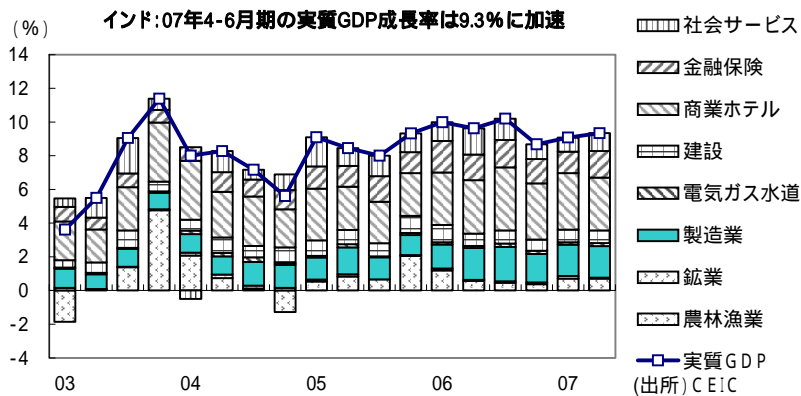
ベトナムの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.8	8.4	8.2	7.9	8.2	7.7	7.8				
	農業生産	4.4	4.0	3.4	3.6	3.4	2.3	2.8				
ytd	鉱工業・建設生産	10.2	10.6	10.4	9.8	10.4	9.2	9.7				
生産	鉱工業生産(ytd,yoy)	17.3	16.7	18.3	17.9	18.7	10.8	12.2	13.1	13.8	14.4	18.3
消費ytd	小売売上(名目,yoy)	20.0	27.6	22.2	21.5	22.2	21.3	27.3	27.7	27.3	25.1	26.0
輸出入 ytd	貿易収支(100万ドル)	5520	4648	4805	3347	4805	1711	4653	3827	4653	5614	6414
	輸出(yoy)	30.8	24.0	22.9	24.9	22.9	18.6	19.7	19.7	19.7	19.6	19.6
	輸入(yoy)	26.1	17.0	20.4	20.1	20.4	39.0	31.3	32.8	31.3	31.3	30.4
国際収支	経常収支(100万ドル)	957	217									
	外貨準備高(100万ドル)	7,041	9,050	13,383	11,904	13,383						
物価	消費者物価(yoy)	7.9	8.3	7.5	7.3	6.7	6.6	7.4	7.3	7.8	8.4	8.6
金融	株価指数(VN index)	239	308	752	527	752	1,071	1,025	1,081	1,025	908	908
	為替レート(ドン/ドル)	15,714	15,827	15,967	15,988	16,051	16,016	16,053	16,043	16,084	16,100	16,172
	為替レート(円/100ドン)	0.70	0.71	0.74	0.74	0.75	0.76	0.76	0.77	0.77	0.77	0.73
	銀行間金利(翌日物)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	8.00	5.48	4.45	3.86	5.35	3.21	n.a.

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、GDP、生産、小売、貿易統計の四半期、月次はいずれも年初来累計ベース(ytd)。

5. インド経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。4～6月期の実質 GDP 成長率は製造業（前年同期比 11.9%増）、商業・ホテル・運輸・通信（同 12.0%増）などの高成長持続を背景に同 9.3%と前期（同 9.1%）からさらに加速した。ただし、今後はインド準備銀行（中銀）のこれまでの金融引締め政策（06年1月以降合計 1.50%ポイントの利上げと預金準備率の引き上げ）の影響から成長テンポは徐々に鈍化すると見られている。
- ・ 7月の鉱工業生産は前年同月比 7.1%増と大方の予想（9%台）を下回る水準に鈍化した。引締め政策に加えてルピー高、洪水、輸入競合品の増加、在庫整理などいくつかの要因が指摘されており、生産は当面軟調に推移すると見られている。
- ・ 8月の卸売物価指数は前年同期比 3.9%と 15 カ月ぶりに 4%を下回ったが、これは昨年同期の水準が高いことが主因であり、高成長持続の下でインフレ圧力は依然として強いと見られている。



インドの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	07/5月	07/6月	07/7月	07/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.2	8.7	9.6	10.2	8.7	9.1	9.3				
	農業生産	1.7	5.1	3.3	2.9	1.6	3.8	3.8				
	実質 GDP (年度)	7.5	9.0	9.4								
	農業生産 (年度)	0.0	6.0	2.7								
生産	鉱工業生産 (yoy)	8.5	7.9	10.5	11.8	11.2	12.5	10.4	10.9	9.0	7.1	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	21.8	43.9	54.4	14.2	18.1	12.8	20.6	6.2	7.3	5.0	
	輸出 (yoy)	31.5	27.4	25.6	30.3	19.5	14.7	18.1	18.1	14.1	18.3	
	輸入 (yoy)	36.7	44.0	25.0	24.1	35.3	17.3	34.3	26.4	36.7	20.4	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	0.8	7.8	9.4	4.8	2.8	2.6					
	外貨準備高 (10億ドル)	125.2	131.0	170.2	158.3	170.2	191.9	205.2	200.7	205.2	206.1	219.8
物価	卸売物価 (yoy)	6.6	4.7	4.8	5.1	5.6	6.4	5.4	5.5	4.5	4.4	3.9
	消費者物価 (yoy)	3.9	4.0	6.3	6.6	7.0	7.0	6.3	6.6	5.7	6.5	
金融	M3 (M3, yoy)	12.8	17.8	19.2	18.9	19.2	21.3	21.7	19.7	21.7	21.7	
	株価指数 (BSE Sensitive)	6,603	9,398	13,787	12,454	13,787	13,072	14,651	14,544	14,651	15,551	15,319
	為替レート (ルピー/ドル)	45.2	44.1	45.3	46.3	44.7	44.0	40.9	40.7	40.8	40.4	41.0
	為替レート (円/ルピー)	2.39	2.50	2.57	2.51	2.64	2.71	2.95	2.97	3.0	3.0	2.8
	TB3ヶ月	4.70	5.43	6.40	6.48	6.80	7.67	7.38	7.39	7.39	4.46	7.10

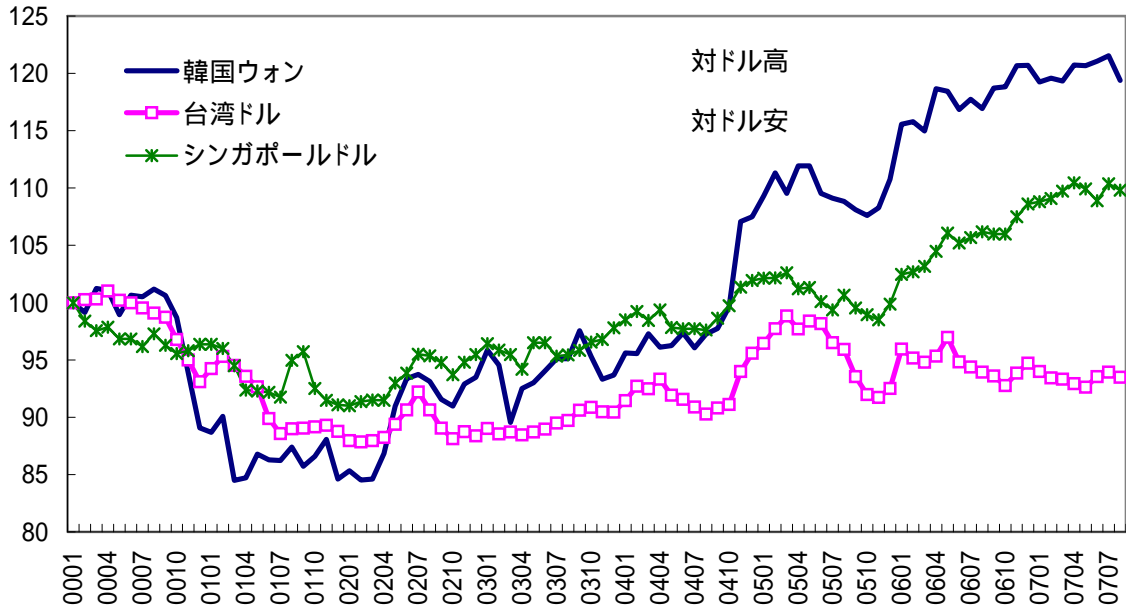
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、年度は4月から翌年3月

アジア通貨・株価動向

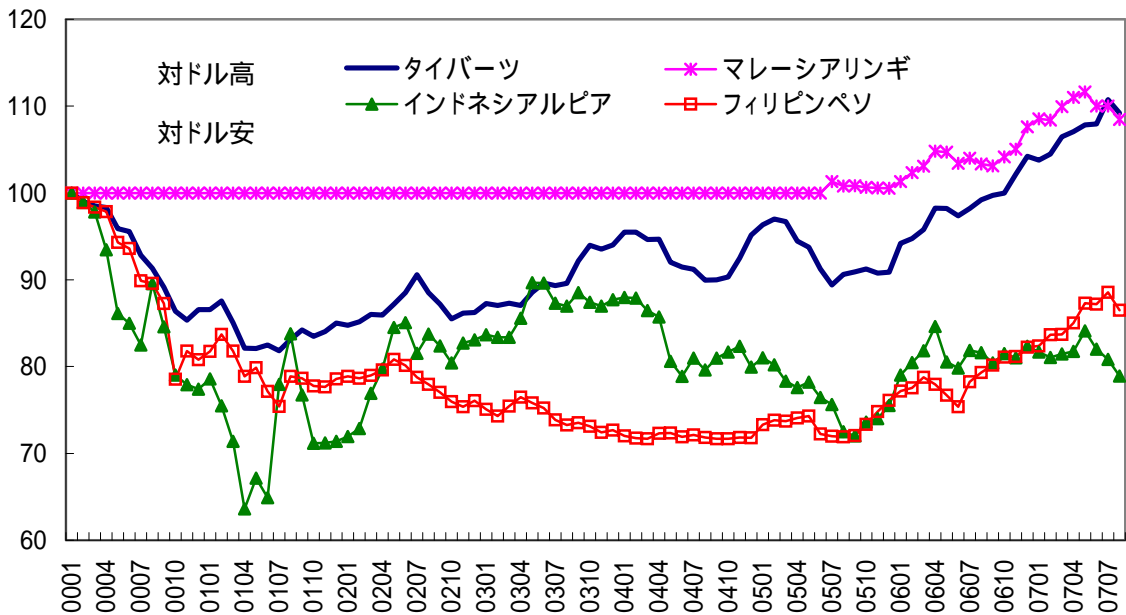
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

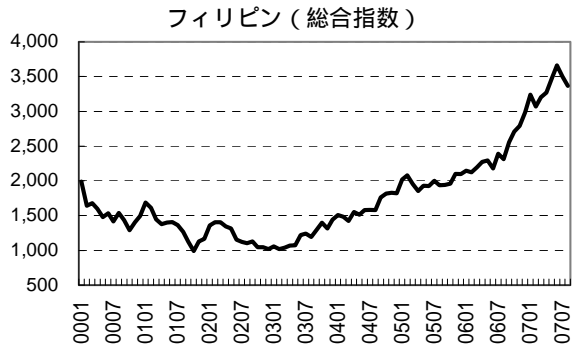
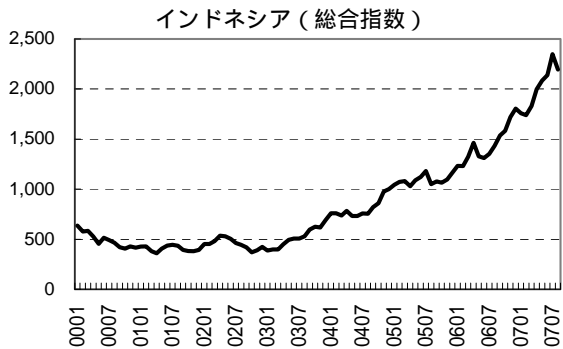
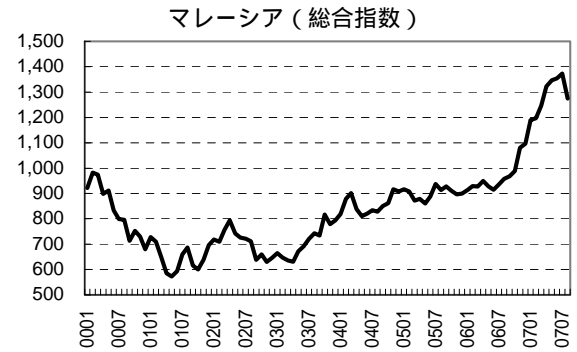
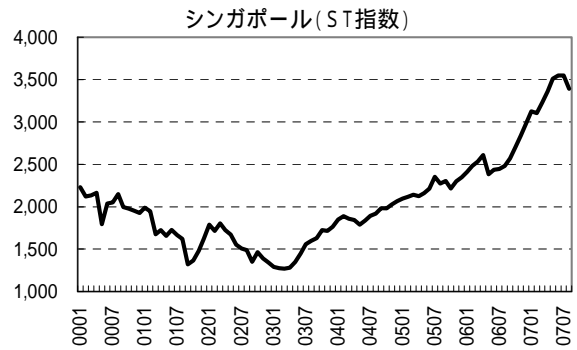
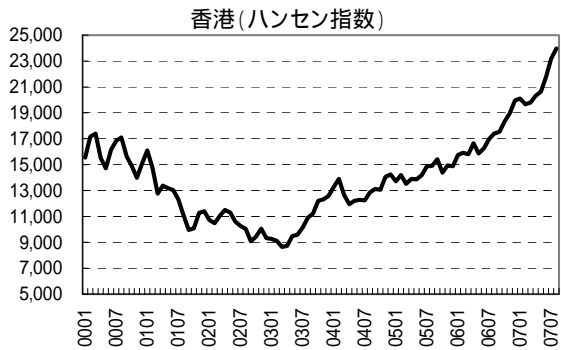
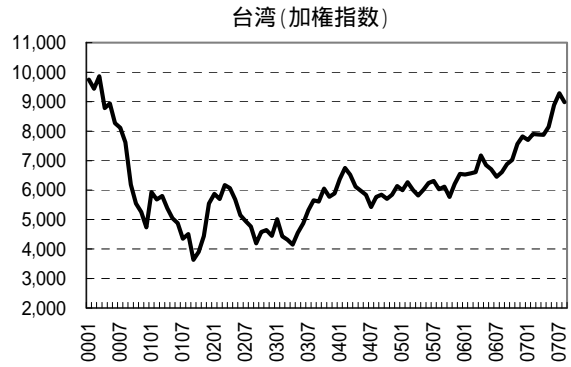
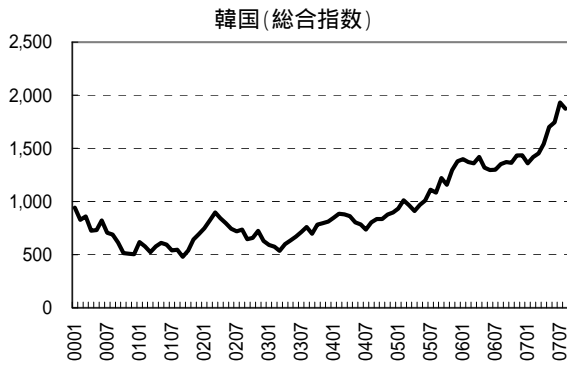


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。